

施策名 31 女性が活躍できる環境をつくる

4. 施策にかかるコスト								
			単位	R2予算	R2決算	R3予算	R3決算	R4予算
コスト の内訳	投入人員	正職員数	人		0.84		0.63	
		会計年度任用職員数			0.0		0.0	
	人件費	直接人件費	千円		6,354		4,697	
		間接人件費			1,299		1,179	
	直接事業費			1,224	1,052	3,772	1,430	3,128
	間接事業費				5		3	
	フルコスト				8,710		7,309	
	財源 内訳	使用料及び手数料		千円				
国庫支出金								
府支出金					0		0	
市債								
その他								
一般財源 1（＝フルコスト －特定財源）					8,710		7,309	
一般財源 2（＝直接事業費 －特定財源）			1,224		1,052	3,772	1,430	3,128
備考								

5. 施策の成果指標							
成果指標1		審議会等における女性委員の割合					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
%	令和4年度	35	増加	25	21.9	35	35
成果指標2		女と男のフォーラム参加者数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人	毎年度	100	増加	15	39	100	100
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

6. 施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和3年度実績）										
事務事業名	最重要指標			事業費 人件費				方向性		所見
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込)			
男女共同参画 事業 (人権)	「女と男のフォーラム」参加者数			1,083	1,052	1,430	3,128	成果	A：向上を図る	「女と男のフォーラム」は新型コロナウイルス感染症の影響により参加者数が減少した。引き続き男女共同参画を推進するため、次期計画策定にむけた取組を行う。
	R3実績	39	人					資源配分	B：現状維持	
	最終目標値に対する達成率	39.0%		9,190	7,653	5,876				

7. 施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	新型コロナウイルス感染症の拡大により、啓発活動が制限された。
構成事務事業に課題はないか	妥当である。
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	妥当である。

8. 今後の方向性
男女参画等に関しての市民意識を把握したうえで、「貝塚市男女共同参画計画（第4期）コスモスプラン」を令和4年度中に策定し、ワーク・ライフ・バランスの啓発等に努め、男性も女性も意欲に応じてあらゆる分野で活躍できる社会をめざして取り組む。